

2013年9月7日

加盟競技団体各位

社団法人日本アメリカンフットボール協会
安全対策委員会

脳震盪の扱いについて

脳震盪とは、頭部への直接的または間接的な衝撃によって引き起こされる一時的な脳機能障害です。症状からは脳震盪と思われても、微細な出血が起きている場合があること、短期間に脳震盪を繰り返すと重大な結果を招く場合があることなどから、近年、脳神経外科学会やスポーツ界では、脳震盪は慎重に対応すべき深刻な問題という認識になっております。

他の競技団体（ラグビー、柔道、サッカー等）が脳震盪のガイドラインを設定している現状を考え、アメリカンフットボール協会としても何らかの注意喚起が必要と考えます。

アメリカンフットボールの公式規則付録 C の「脳震盪が疑われた場合」において「コーチは、プレーヤーが少なくともその日 1 日は外れるゲームプランを作らなければならない」とされておりますので、以下のように加盟チームに周知くださるようお願い致します。なお、脳震盪を疑う症状や所見は別紙のとおりです。

1. 脳震盪と判断された場合は、当日の試合や練習のプレーに復帰させない。
2. また、その後のプレーへの復帰については、必ず医師との相談の上、段階的なプレーへの復帰を検討する。

以上